

SSH事業「東京実習」「夜間研修・オープンハイスクール発表」

研修は夜間も続きます。その日に学んだ内容をレポートにまとめたり、翌日の訪問する施設での質問事項を整理したりと、たくさんの課題が待っています。2日目の夜は、オープンハイスクールで中学生向けの発表をするための資料作りを行いました。高度な内容を中学生に分かりやすく伝えること、また、研修の成果を発信することを意識しながら、限られた時間で発表スライドを完成させるのは簡単なことではありません。各班メンバーで協力しながら活動する姿が見られました。13日（土）に行われたオープンハイスクールでは、工夫を凝らした資料をもとに堂々と発表する姿が見られました。学んだことだけでなく、自分たちの成長や、SSH事業や理数科の魅力を中学生にアピールすることができました。

また、2日目の夕方は、わずかですが自由行動の時間がありました。自主的に行先を決定し、それぞれに楽しむことができましたようです。

研修を通じ、東京ガーデンパレスのスタッフの皆さま、名鉄観光サービス株式会社の鈴木様、酒葉様には本当にお世話になりました。生徒たちも、本研修が様々な方のお力によって成り立っているということ意識してくれたのではないかと思います。

<全体感想より>

JAXAの事前課題では、楽しみながら宇宙について学び、班のメンバーで課題に向き合うことができた。

先行研究や既存の宇宙機について、たくさん調べたことが大きな経験となりました、

一番の収穫は、化学と生物を深く知りたいと思ったことです。筑波大学では、橋本先生の講義を受け、生物と化学は密接に関わっているのだと改めて実感しました。

筑波大学の先生方は皆、生徒に教える立場ではなく、生徒とともに学ぶ人たちであるように感じられた。

橋本先生の講義は、普段の授業に比べ、はるかに長い時間でしたが、最後まで集中できてすらすらと頭に入ってきて、これが質の高い学習なんだという実感をしました。このレベルで日々の授業に参加すれば、すごく成長できると感じました。どこに行っても先生方がおっしゃっていたように、結局は基礎が大事で、そのためには普段の授業や家庭学習が大切だと分かりました。

中須賀先生の講義が私の心を強く刺激しました。「期待を超えてやろうと思う生徒は必ず伸びる」という言葉を聞いたとき、これまでの自分を振り返って、もっと改めるべき点があるのではないかと考えるようになりました。「言われたからやる」という思考を変えて「自分で取りに行く」ようになりたいです。

東京大学では、中須賀先生も石川さんも、好きなことやりたいことを見つけてから大学を決め、それにのめりこむことが大切だとおっしゃっていました。そのために情報を集めていかなければならないと思いました。

古恵先生は、「人が美しいと感じる時、人は何をそう思っているのか」ということに興味があるとおっしゃいました。自分の専門以外にも、普段からそういうことを考えて生活しているのはとても素敵だなと思いました。

古恵先生の講義は、難しい部分も多くあったが、話を理解できたときはとても充足感を得ることができた。「こと」の科学と「もの」の科学のお話を聞いて、自分が理数科だからという理由で、大学選びの幅を狭めてしまうのは、とても馬鹿らしく感じた。文系理系と確実に言い切れる仕事が全てではないのだから、自分の求めるもののために動こうと思えた。

今回の実習は準備も含めて濃密でした。それは、やはり自分が本気で取り組んだからだと思います。JAXAの課題に取り組んでいたとき感じたのは、他者の意見を聞くことの意味です。今までは、一人で作業したほうが速いし、よいものが出来上がると思っていました。しかし、今回悩んでなかなか前に進まなかったとき、同じ班の人の意見が、ブレイクスルーとなり、結果よいものが仕上がりました。

東京大学では、講義の時間で見たこと、聞いたことを全て自分のものにしてやろうという気持ちでした。1時間集中し続けるのは、こんなにも疲れるものなのだと感じました。普段の授業もこのくらいの強度で取り組まないといけません。

プログラム全体を通して、自分の知識不足を改めて感じた。知識がなければ、どんなに講義を聴いても内容が理解できないので、知識は大切だと思った。実際、実習の中で分からないことがあったので悔しかった。今は化学を学びたいと思っているが、JAXAやJAMSTECに行き、物理分野もおもしろそうだと興味がわいた。

今回のように、大学や研究施設を訪問し、本物を見て、触れて体験し、お話を直接うかがうことは、教科書には載っていないことを学んで、新しい考え方を知ったり、様々な思いに触れたりする貴重な機会だと思います。今の自分の知識とつながったと思えることもたくさんありました。

自分が今回の実習で一番変わったと思う点は、自分から積極的に意見を言う姿勢だ。講義がおもしろかったから質問できたこともあるが、自分の成長だとも感じている。

テストで良い点を取るため、受験に合格するために勉強するのではなく、興味を持ったことを追究したり、ただ暗記するのではなく、なぜそうなるのか疑問を持ちながら学習したりする姿勢を持ちたいと思いました。



